

# 千葉大学教育学部入学者受入れの方針

## 1 千葉大学教育学部の求める入学者

教育学部は多様な教育に関連した領域を学ぶ環境の中で、教育に関わる実践力を育成することを目指し、次のような入学者を求めています。

1. 学校、家庭及び地域をめぐる教育上の諸問題に広範な関心を持ち、他者と積極的に交流することができ、学ぶことや活動することを喜び、そして新しい可能性を自己ならびに他者に示す努力をいとわない人
2. 将来教師となって他者を教え、育てる中で自分も学ぶ姿勢を持ち続けることのできる人

## 2 入学者選抜の基本方針

本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施します。なお、後期日程での試験は実施しません。

### 1. 一般選抜

#### (1) 前期日程

コース・分野・選修の特性に基づき、多様な選抜方法（学力検査、面接、実技検査、専門適性検査）を実施し、個別学力検査の成績、大学入学共通テストの成績、調査書の内容を総合的に評価します。（後期日程は実施しません。）

### 2. 特別選抜

#### (1) 総合型選抜

コース・分野・選修の特性に基づき、一般選抜では判定することのできない資質と適性を、選考の結果と提出書類から総合的に評価します。主に適性検査と面接により選抜を実施して、中学校コース技術科教育分野を除いて大学入学共通テストを資格試験として課します。

#### (2) 私費外国人留学生選抜

全てのコースにおいて私費外国人留学生選抜を実施します。日本留学試験、面接とともに、コース・分野によりTOEFL、学力検査、実技検査を課します。

## 3 入学までに身に付けて欲しいこと

コース・分野・選修の特性に応じた内容を学ぶとともに、幅広い知識と教養そしてコミュニケーション能力を身に付けることが資質として求められます。そのため、特定の領域に限定することなく、広範な領域の内容に興味を持つとともに、様々な活動を経験することが重要となります。

なお、教育学部においては、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園などの教員や養護教諭になるための教育に対応した以下の7つのコースのうち、いずれかに所属して学修をしていきます。

### ・小学校コース

教育や社会の諸問題に常に関心を持っておくことが重要です。また、他の人が伝えようとする内容を理解し、自分の考えを分かりやすく相手に伝える能力を養っておくことが大切です。学習面では、文系・理系の科目を問わず幅広い基礎力を身に付けてください。

- ・ 中学校コース

これから学ぼうとする教育分野に関連する教科・科目のみならず、広く基礎学力を身に付けることが重要です。また、様々な活動を経験し、コミュニケーション能力を身に付けることも大切です。自分が今までに学んだり経験したりしてきたことを、教師になって活用できるよう、広くものごとに目を向け、その本質や価値を把握しようとする資質（学ぶ意欲や姿勢）を養ってください。

- ・ 小中専門教科コース

小学校から中学校までの長期的な視点に立って児童生徒の学びを支えられるよう、専門としたい教科に深い関心を持って活動（実践）経験を積み、実技力や専門的知識の習得を心がけてください。

その過程で、ものごとを様々な角度から捉え、新しい見方を発見しようとする習慣を身に付け、また、それを相手に伝えるためのコミュニケーション能力獲得も意識するようにしましょう。そして、広く一般社会にも目を向けると共に、自分の専門以外の科目もしっかり学習し、大学での学びに必要な幅広い基礎学力を身に付けてください。

- ・ 英語教育コース

基本的な社会的知識と教養を身に付けることが重要です。それを踏まえ、ものごとに対して国際的視野から幅広く関心を持って学ぶ姿勢、積極的に挑戦する態度を持ってください。さらに、相手が英語を使って発信する内容を正しく理解する能力、自分の伝えたいことを英語で表現できる能力を身に付けてください。

- ・ 特別支援教育コース

特別支援教育に関わる教員には、相手の置かれた状況や行動の意図を深く理解し、受容する姿勢が問われます。読書やボランティア活動などを通して、様々な出来事に対して、柔軟なもの見方やとらえ方ができるよう、教員としての資質を養ってください。

- ・ 乳幼児教育コース

将来幼稚園教員として専門的な役割を果たす上で、基本的な社会的知識や教養を身に付けていることが必要です。幅広くものごとに関心を持ち、積極的に学ぶ姿勢が重要です。そのためにも、幅広い領域に関して読書する習慣を身に付けてください。

また自分の考えや思いを丁寧に、きちんと表現し、他者に伝えること、同時に他者の表現をしっかり受け止め理解することが大切です。

- ・ 養護教諭コース

基礎学力としての十分な知識（特に「生物」の知識は入学後の修学に必要です。）とともに、人との関わりが多くを占める養護教諭の職務に備え、様々な活動や体験を通して豊かな感性と柔軟なもの見方、コミュニケーション能力を身に付けることが大切です。